

あの日、川を案内して下さった伊藤さんのさっそうとした姿が思い出されます。木々の葉が開き始めたばかりで、空気はひんやりしていましたが、釧路の生き物に寄せる熱い思いが伝わってきました。長い間のご交誼に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

(2008.6.30)

伊藤政和さんの思い出

野崎隆夫（神奈川県環境科学センター）

伊藤さんに初めてお会いしたのは 20 年以上前のことになる。場所は、当時横浜市旭区にあった神奈川県衛生研究所の故森谷清樹さん（そのころユスリカを研究していた）の部屋であった。その部屋は、しばしば 5 時以降いろいろな人が集まり飲みながら歓談する場所になっていたが、隣接の研究所（旧公害センター）にいた私がその日も顔を出したところ、北海道から来たという伊藤さんがいた。どんな話をしたのかも記憶にないが、大きな声で楽しそうに話し、笑う姿が印象的であった。

その後、これもいきさつは忘れてしまったが、伊藤さんから 1987 年 3 月に雪の上で採集したというトビケラの成虫が送られてきた。まだ駆け出しのトビケラ屋であった私には、雪の上で活動するトビケラ成虫がいること自体が驚きで、種名の確定までにはずいぶん時間がかかってしまい(Tanida et al., 1999)、この時点では北欧や北米の一部に分布する *Chilostigma* 属であることまでしか分からなかった。文献では、この属の成虫が雪の上で採集されることは知られていたものの生態はまったく解明されておらず、そのことが伊藤さんの探求心を強く刺激したようで、その後精力的に調査を進めている様子を時折お便りいただくようになった。

ある時、雪に埋まった生息地の写真とともに、「歩くと沈んでしまうので山スキーを履いて調査をしている」というお手紙をいただき、「本州の暖地に住む私には想像を絶する厳しい調査と思う」と返事を書いたところ、後にお会いしたときに「夏の調査に比べれば雪の上の調査なんてなんでもない」と楽しそうに笑われた。夏には蚊（ヌカカも？）の大群に襲われとてもたいへんなのだという。そんな苦勞をして調べた結果、和名をユキエグリトビケラと名付けられたこのトビケラの生態に関する論文が *Sylvicola* 誌上にいくつも掲載されることとなったのである（伊藤, 1992; 伊藤・生方, 1998; 伊藤ほか, 1998）。また、同族でシベリヤから記載された *Brachypsyche sibirica* が北海道にも分布することも発見し(Nozaki & Itou, 1993; 1998)、この種もやはり成虫で冬を越すことを明らかにした論文も発表された(伊藤, 2001)。これらの種は国外で記載され、採集記録も少なからずありながら生態の情報がきわめて乏しかったもので、過酷な条件をものともせず調査を行った

伊藤さんの情熱と探求心があってこそ得られた貴重な成果である。これらの論文は日本語で書かれたにも関わらず、国外の研究者にも大きな影響を与え、両種が分布するスウェーデンの Gullefors さんは、新旧の採集データを再検討し、スウェーデンでも両種が成虫で越冬していることを示唆する論文を発表し、その中に伊藤さんが雪上で撮影した鉋路のユキエグリトビケラの写真を掲載した(Gullefors, 2005)。私は、伊藤さんの手により、成虫越冬をするトビケラの生態の全容が大きな論文にまとめられる日を楽しみにしていたが、それがかなう日はもう来ない。

ユキエグリトビケラの標本が最初に届いたところに相前後して、霧多布湿原のトビケラ成虫も届けられた(野崎・伊藤, 1988)。本州の溪流のトビケラばかり見ていたその頃の私には、あまりなじみのないエグリトビケラ科やトビケラ科がたくさん入っていたうえ、日本初記録の種も多かったことから、まるで欧米の標本を検討している気分であった。同定結果を知らせる手紙の中に、そんな気持ちも書いたのであろう。後年北海道でお会いしたときに、周りの人に「この人は北海道のトビケラを見て、北海道は日本じゃないと書いてきたんだ。」と、楽しそうに大きな声で笑いながら紹介してくださった。あの、笑い顔に再びお目にかかる日も、もう来ない。

政和さん。北海道の興味深いトビケラ達に出会わせてくださり、本当にありがとうございました。ご生前のご指導に感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

引用文献

- Gullefors, B. 2005. Två nattsländearter (Trichoptera) på snö i Sverige. *Ent. Tidskr.*, 126: 85-87.
- 伊藤政和 (1992) 成虫越冬をするエグリトビケラの 1 種 *Chilostigma* sp. の日本における発見. *Sylvicola*, 10: 49-54.
- 伊藤政和 (2001) 成虫越冬するオツネントビケラの生活史-産卵場所と卵塊の卵数について-. *Sylvicola*, 19: 45-48.
- 伊藤政和・生方秀紀 (1998) 成虫越冬するユキエグリトビケラの生活史 (1) 産卵場所と卵数について. *Sylvicola*, 16: 23-25.
- 伊藤政和・生方秀紀・南完治 (1998) 成虫越冬するユキエグリトビケラの生活史 (2) 成虫の越冬場所と幼虫の微生息地の温度の季節変化. *Sylvicola*, 16: 36-31.
- 野崎隆夫・伊藤政和 (1988) 霧多布湿原若山沼のトビケラ, 特にエグリトビケラ科とトビケラ科について. *Sylvicola*, 6: 55-61.
- Nozaki, T. and M. Itou (1993) A new record of *Brachypsyche sibirica* (Martynov)

(Trichoptera, Limnephilidae) from Hokkaido, northern Japan. *Jpn. J. Ent.*, 61: 174,
Nozaki, T. and M. Itou (1998) Immature stages of *Brachypsyche sibirica* (Martynov)
(Trichoptera: Limnephilidae). *Entomological Science*, 1: 423-426.
Tanida, K., T. Nozaki and M. Itou (1999) The larval stage of *Chilostigma sieboldi*
McLachlan (Trichoptera, Limnephilidae), with notes on taxonomy and distribution.
Aquatic Insects, 21: 153-160.